

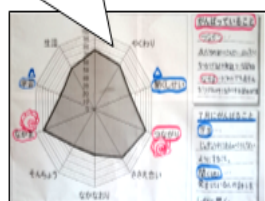
第3章

【安心と信頼にあふれ高め合う学級づくり】実践例

児童による学級力向上に向けた取組 ～天草市立本渡南小学校～

落ち着いた環境で安心できる学級、支持的風土のある「認め合う」学級を目指し、児童が主体的に学級の課題解決に向けて取り組んでいる。

○生活のきまりをみんなが守るために「合い言葉」を決めよう。
○友達の良いところをみんなでたくさん出し合い「あったかハートの木」をいっばいにしよう。
○おしゃべりをしないように声かけをしよう。



◆学級力アンケート

- ・年間5回実施（6, 7, 10, 12, 3月）
- ・1年：自分自身（10項目）
- ・2～4年：学級の様子（10項目）
- ・5、6年：学級の様子（15項目）

やりとげる力

①目標 みんなで決めたことよりやりぬいていくことができる学級です。
②役割 かわりばんくの役割にすすんでとりくめる学級です。

話をつなげる力

①聞く姿勢 発言している人の話をきいてまですっかり聞いている学級です。
②つながり 友達の話を賛成・反対・つたえし、つなげるように発言している学級です。

ささえあう力

①食べ合い 昼食・運動・そうじ・給食などで、教え合い助け合いをしている学級です。
②仲乗り すなおに「ごめんね」と言って、なかなかりがでる学級です。

あしんを生きる力

①尊重 友だちの心をきづけることを重んじ、からかたりしない学級です。
②仲間 だれとでも遊んだり、グループになつたりすることができる学級です。

きまりをまもる力

①学習 じょうずにやむにやむおしゃべりをしない学級です。
②生活 うちかきあがらない、あいさつをすなど、学級のきまりをまもっている学級です。

学級力向上プロジェクト

アンケートは4段階評価

サイクルは年間5回

◆スマイルアクション

- ・スマイルタイムで話し合った学級の約束事を行動化すること

「そんちょう」が低いから、友達に優しい言葉をかけることが足りないんだよ。



まだ、授業中のおしゃべりが多いよね。

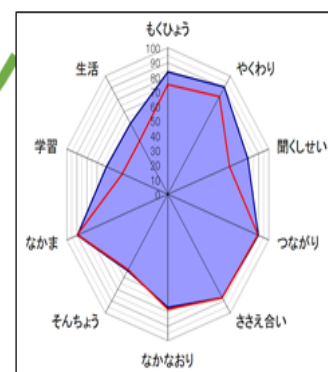
生活のきまりは前回から伸びたけど、まだ守られていない。

「学級力」とは

学び合う仲間としての学級をよりよくするために、子供たちが常に支え合って目標にチャレンジし、友達との豊かな対話を創造して、規律を守り、安心できる環境のもとで、協調的な関係を創り出そうとする力

◆レーダーチャート

- ・アンケート結果を児童に提示



前回の結果を赤色の折れ線で表示し、今回の結果（青色）と比較することで学級の課題を焦点化

◆スマイルタイム

- ・自分たちの力で学級をよりよくするために行う話し合い活動
- ・学級活動年間計画に位置づけ（年間5回）

取組の成果として、学級に規律、居場所、絆が生まれ、学級力が高まり、学力向上につながっています。さらに、欠席日数の減少、不登校改善にもつながっています。

※早稲田大学教職大学院田中博之教授の編著「学級力向上プロジェクト」を参考に、校内研修を通して自校化を図り、取り組んでいる。

第3章

【安心と信頼にあふれ高め合う学級づくり】実践例

班ノートで心の交流を図る取組 ～玉東町立玉東中学校～

自他を認める学級づくりに向け、全ての学級で「班ノート」を活用した交流に取り組んでいる。

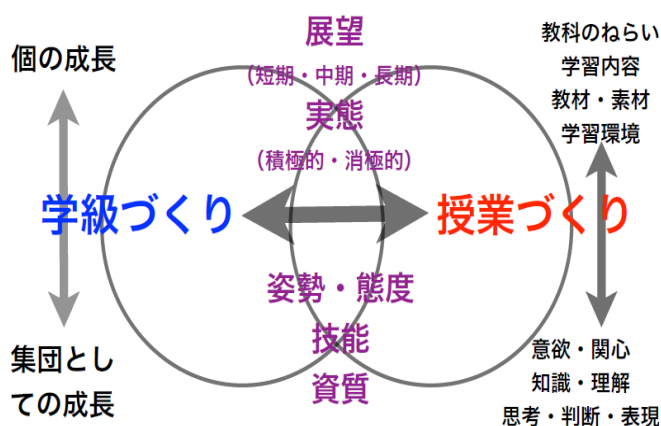
返しのコメントやスピーチにより思いを伝え合う場を設定することで、生徒間や教師と生徒のよりよい人間関係を育み、目指す資質・能力の育成につながっています。また、学級通信に掲載することで、家庭からの返しもみられます。



自己有用感を高める取組 ～西原村立山西小学校～

学校教育目標に沿った資質・能力を育てるために、「子どもの育ちの土壌づくり」を掲げ、「学級づくり」と「授業づくり」のアセスメントに取り組んでいる。特に、中・長期的な展望を持ちながら、「自己有用感」を高める取組を全ての教育活動の基底に据えた学校経営の具現化を図っている。

子どもの育ちの土壌づくり



「自己有用感」を高める活動例

- 1 児童会活動
 - ・ 様々な児童集会の実施
 - ・ 縦割り班遊びや班旗づくり
- 2 ボランティア活動
 - ・ 被災地への支援物資提供
 - ・ 1人暮らし高齢者との交流
 - ・ 学校緑化活動
- 3 学年・学級活動
 - ・ 「授業名人」の唱和
 - ・ 学級目標の振り返り活動

様々な活動を通して、学級における児童の人間関係が深まるとともに、学校全体に温もり・信頼・笑顔が広がっている。